

令和6年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A ほぼ達成	(8割以上)
	B 概ね達成	(6割以上)
	C 変化の兆し	(4割以上)
	D 不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学年	現状と課題	年度評価		年度評価(月日現在)		学校関係者評価		
		評価項目	具体的方策	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	実施日 令和 年 月 日 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大半の生徒が授業に落ち着いて取り組んでいるが、主体的に学ぶという生徒が少ない。 授業をはじめとする生徒用タブレットの端末の更なる活用についてより一層、検討が必要である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図るために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。 教員の授業へのICT活用スキルの向上を図ること。 生徒の学ぶ意欲と探究心を刺激し、主体的に学習に取り組む姿勢を育成すること。 図書館利用を引き続き増やし、読書を習慣化すること。 3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと。 	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、意欲的に学ぶ生徒を育成する。</p>	<p>①新教育課程を踏まえた授業改善を推進する。</p> <p>②手帳を活用し、生徒の自己マネジメント能力を高める。</p> <p>③検定試験の学習の支援を組織的に行い、3年間を見通した計画を生徒に考えさせ、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。</p> <p>④図書館利用を積極的に授業で取り入れ、利用を推進しながら生徒の読書習慣を支援する。</p>	<p>①授業公開月間を設定し、授業互見状況、授業改善研修の実施状況。</p> <p>②生徒学習調査による家庭学習時間の増加状況。</p> <p>③資格試験の受験者数及び合格者数。</p> <p>④図書館の授業での利用数、図書の出数。</p>				
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな生徒指導により、生徒は落ち着いた雰囲気の中で学習することができ、安定した学校生活を送ることができている。 近隣住民から自転車マナーに対する意見が多く、マナーを守ることができない生徒も少なからずいる。 生徒会が中心となって学校行事の運営ができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感が低い生徒が多いので、生徒が活躍できる場を数多く設定する。 生徒の実態を把握し、潜在化している問題を早期発見することにより、状況に応じた指導体制や支援体制が求められている。 登下校時の安全を確保する。 	<p>○自らの意志で行動を律する力のある生徒を育成し、規範意識の向上を図る。</p>	<p>①教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的な生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。</p> <p>②SC、SSW等を活用した教育相談体制の充実を図る。</p> <p>③二者面談を実施し、生徒の現状を正確に把握する(年2回以上)。</p> <p>④生徒の規範意識を醸成し、特に、交通ルールやマナーを守るとともに、時間に余裕を持った通学に向け5分前登校を推進し交通事故ゼロを目指す。</p>	<p>①欠席者、遅刻者、皆勤者の状況。</p> <p>②SC、SSW等の活用状況。</p> <p>③二者面談の実施状況。</p> <p>④登下校時の交通事故ゼロ達成状況。</p>				
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。年々上位校への受験者数、合格者数共に増加している。 探究学習やICTを用いた学習支援、手帳指導も有機的に繋がりが機能している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。 多様な生徒の進路への対応を組織的に行うこと。 本校進路指導の根幹である職業観の育成と就職希望、看護医療系希望への指導を継続すること。 一般、公専、AOでワンランク上の進学先を目指す指導を保護者への情報提供とともに確立すること。 	<p>○学校行事をはじめ、主体的に行動できる生徒を育成し、学校行事を活性化するとともに部活動を通じて自己肯定感のある生徒を育成する。</p>	<p>①生徒が主体となって学校行事を運営できるよう、生徒会活動の核となる生徒会本部の活動を充実する。</p> <p>②生徒が自己肯定感を抱くように、生徒が活躍できる機会を増やし、教職員のサポート体制を充実させる。</p> <p>③部活動加入率を前年度と同程度(90%)を維持し、各種大会やコンクールで上位入賞ができるように校内バックアップ体制を強化する。</p>	<p>①生徒会の本部役員等、各学校行事等の企画・運営を今まで以上に生徒中心で行うことができた。</p> <p>②生徒が学校行事や部活動などに積極的に取り組んだ生徒の状況。</p> <p>③草加西高校部活動サポート事業の活用状況。</p> <p>部活動加入率(90%以上)の維持や部活動の実績状況。</p>				
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っており、近隣中学校とも良好な関係を築いている。 コロナ禍以降学校行事や授業公開への保護者の参加が減少している。 草加かがやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。 PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。 地域住民の方々が来校する機会が限られている。 入試倍率が低下傾向にあるので、学校の取り組みをどのように周知していくか。 分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行い、また、職員の交流(合同研修会等)に取り組むこと。 	<p>○保護者、生徒や地域の方々から草加西高校の魅力発信し、地域社会との連携を積極的に図る。</p>	<p>①生徒自身が地域で活躍する機会を多く設定することを通して、地域住民や小・中学校等及び近隣の大学・専門学校等との連携を積極的に推進し、本校の良さを発信する。</p> <p>②ホームページの積極的な更新を行い、効果的に活用することを通じて、生徒の活動を積極的に掲載する。</p> <p>③外部個別相談会の充実、学校説明会の改善を通じて、本校の魅力積極的に発信する。</p> <p>④草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒にに行い一体感を味わう。</p>	<p>①地域との連携の推進状況。(地域ボランティア活動や地域のイベント等への参加回数と生徒数など)</p> <p>②ホームページの更新数と閲覧数。</p> <p>③外部個別相談会の来場者数、部活動体験、受験発表、学校説明会の来校者数。</p> <p>④草加分校との交流状況。</p>				